

授業科目名・形態	在宅ケア論 I	講義	必修・選択の別	必修
担当者氏名	石川セツ子・芳賀邦子・黒澤繭子・高山新吾	開講期	2年前期	単位数 2

【授業の主題】

高齢化社会を背景に健康概念に関する理解を深め、現状の健康問題について考える姿勢を養う。その上で在宅療養者とその家族に対する特性を理解し、対象者の多様なニーズへの対応、セルフケア能力の向上、在宅療養者へのQOLを重視した支援方法について講義する。

【到達目標】

- 1) 社会状況を取り巻く在宅ケアの必要性和社会的背景を知るとともに、在宅看護の主な経緯と背景について理解する。
- 2) 在宅ケアの概念および倫理について理解し、在宅ケアの対象と地域包括ケアシステムへの取り組みについて知る。
- 3) 日常生活における様々な援助方法について演習を行い、体験により振り返りができ課題について考えることができる。
- 4) 在宅看護が時代の変化に対応できるよう、継続的につなぐ看護の必要性について学ぶ。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 在宅ケアの必要性和社会的背景① (石川)
- 第 2 回 在宅ケアの必要性和社会的背景② (石川)
- 第 3 回 在宅ケアの概念 (石川)
- 第 4 回 在宅ケアの対象、地域ケア体制と社会資源① (石川)
- 第 5 回 在宅ケアの対象、地域ケア体制と社会資源② (石川)
- 第 6 回 在宅看護における倫理的課題 (石川)
- 第 7 回 生活の場における日常生活援助① (石川)
1)入浴・部分浴(手浴・足浴)、2)洗髪、3)移動、4)食事、5)排泄、6)衣類
- 第 8 回 生活の場における日常生活援助② (石川)
- 第 9 回 生活の場における日常生活援助③ (石川)
- 第10回 生活の場における日常生活援助④ (石川)
- 第11回 在宅看護で求められるヘルスアセスメント (石川)
- 第12回 在宅看護活動の技術 (芳賀)
- 第13回 在宅看護における看護過程展開 (石川)
- 第14回 生活の場における日常生活援助・ヘルスアセスメント① (演習) (石川・黒澤・芳賀・高山)
- 第15回 生活の場における日常生活援助・ヘルスアセスメント② (演習) (石川・黒澤・芳賀・高山)

【授業実施方法】：講義・演習・グループワークなど。

【授業準備】：社会背景と看護ニーズを関連づけて理解するため、厚生労働省「国民基礎調査」「地域包括ケアシステム」等の関連資料、参考書を読み、事前学習をしておいてください。

【主な関連する科目】：在宅ケア論Ⅱ 在宅ケア実習

【教科書等】：石垣和子・上野まり 編集：在宅看護論 自分らしい生活の継続をめざして、南江堂、改定第2版

【参考文献】：平成28年度版訪問看護業務の手引き等、必要に応じ授業で紹介する。

【成績評価方法】：①前期定期試験(90%)、②演習、グループワーク等による発言、発表(10%)

【学生へのメッセージ】：①在宅看護に関する法規、最近の社会情勢や国、県、市町村の施策の動きを知り、在宅支援に関して意識を高めてください。

② 社会状況の変化に伴い、時代の変化に対応できる看護について考え、将来的には、患者本人が望む場所で療養できるように、尊厳ある1人の人間として接していただきたい。